

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	姉妹・友好都市交流事業			事業番号	008-022
担当部署名	文化観光	局	国際	部	国際 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(4) 文化芸術の振興・国際交流の強化
		有	取組の方向性	③姉妹・友好都市やアセアン諸国などの国際交流の強化			
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)パートナーシップで目標を達成しよう	ターゲット	17.14 ,17.16	
		有	取組	パートナーシップ強化に向けた姉妹友好都市、アセアン地域などの連携促進			
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	堺市国際化方針					
3	事業開始年度	昭和 42 年度		点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	海外姉妹・友好都市提携の締結（アメリカ・バークレー市、中国・連雲港市、ニュージーランド・ウェリントン市）					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、姉妹友好都市交流協会						
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	国際交流をしている堺市民、海外とのネットワーク構築や交流を希望する企業・団体等	対象数	—			単位	—
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	海外姉妹・友好都市と文化・教育・経済・環境などの幅広い分野での交流を促進し、友好親善にとどまらないWin-Winの関係を構築する。また、ICTを活用したオンライン交流など、人の往来にとどまらない多彩な交流の輪を広げ、国際交流を担う市民の増加を図る。						
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<ul style="list-style-type: none"> ■市民主体の交流事業について 各姉妹友好都市協会と連携し、市民の国際交流活動を支援し、オンライン交流等も取り入れた相互交流を展開 ・ウェリントン市との青少年交流（中高生を相互派遣し、教育交流を実施） ・ウェリントンマラソンへの選手派遣（派遣選手は、堺市在住でKIX泉州国際マラソンの上位入賞者1名） ・姉妹・友好都市提携にかかる周年記念事業（5年又は10年周期で実施） ・姉妹・友好都市から訪問する代表団や経済団の受入 ・姉妹・友好都市交流団体が実施する事業の支援 ■都市間交流について ・教育、産業、環境等のSDGs達成に向けた幅広い分野での交流を推進し、双方がメリットを共有できる取組を実施 ・行政間のネットワークを活用し、企業・団体等の海外とのネットワーク構築、交流を支援 						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載							
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	堺・バークレー協会、堺日中友好協会、堺ウェリントン協会						
10	公民連携・協働事業	各姉妹友好都市交流協会が実施主体となり、交流事業を展開。堺市と関西大学との地域連携事業（連雲港市）						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標	点検年度
	姉妹・友好都市交流事業参加者数	人	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度	
			850	850	850	850	
			実績値	60	160		
達成率	7%	19%					
	当該指標を選定した理由	当該事業参加者数が増加することで、市民の国際理解の促進に寄与するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	周年記念事業を含んだ参加者数（但し、Web配信の視聴回数は除く）。過去の実績から目標値を設定。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	姉妹・友好都市交流事業開催数	回	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
			25	25	25		
			実績値	5	8		
達成率	20%	32%					
	当該指標を選定した理由	当該事業を実施することで、海外姉妹友好都市との交流がより密接となり、本市取組の方向性（国際交流の強化）の推進に寄与するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	周年記念事業を含んだ交流事業回数。過去の実績から目標値を設定。					

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	姉妹・友好都市交流事業	事業番号	008-022
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	3,887	1,368	2,914	1,379	4,544
13 財源内訳	国支出金				0
	府支出金				0
	市債				0
	その他 ()				0
	受益者負担金(使用料、手数料等)				0
	一般財源	3,887	1,368	2,914	1,379
14 人件費 (b)	11,500	11,395	12,215	12,215	15,495
15 年間経費(c)=(a)+(b)	15,387	12,763	15,129	13,594	20,039

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源	
								R3 決算
16 事業費内訳	堺・パークレー協会 補助金	R3 決算	504	504	堺ウエルトン青少年交流事業(受入)	R3 決算	0	0
		R4 予算	504	504		R4 予算	198	198
	堺日中友好協会 補助金	R3 決算	459	459	堺ウエルトン青少年交流事業(受入)	R3 決算	0	0
		R4 予算	504	504		R4 予算	34	34
	堺ウエルトン協会 補助金	R3 決算	393	393	姉妹友好都市との交流事業	R3 決算	0	0
		R4 予算	504	504		R4 予算	132	132
	堺ウエルトン青少年交流事業(受入)	R3 決算	0	0	堺ウエルトン青少年交流事業(受入)	R3 決算	0	0
	その他報償費	R4 予算	441	441	消耗品費	R4 予算	59	59
	堺ウエルトン青少年交流事業(受入)	R3 決算	0	0	その他 (普通旅費など)	R3 決算	23	23
	食糧費	R4 予算	217	217		R4 予算	1,951	1,951

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
		千円	千円
① 姉妹・友好都市交流事業参加者数	人	60	160
② 上記①にかかる年間経費	千円	12,763	13,594
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	212,717	84,963
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 令和3年度については、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、各姉妹友好都市交流協会事業の多くが中止となったが、「新しい生活様式」に基づき、ICTを活用した事業を行うことにより、令和2年度に比し事業参加人数が上昇した。結果として、事業効率性が向上し、単位当たりの経費が減少した。

コロナ禍においても切れ目のない市民レベルでの国際交流活動を継続するため、対面実施が困難な事業については、一層オンラインやWeb配信の手法を取り入れ、姉妹友好都市交流協会等を中心にして交流事業の機会を増やしていくこととする。そうすることで、国際交流を担う市民の参加者数の増加を図ることで、コロナ禍における成果指標の達成に引き続き努めていく。

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で、国境を越えた人的交流の延期や各姉妹友好都市協会の事業の中止により、事業開催数及び参加者数ともに令和2年度に引き続き、目標値を大幅に下回る結果となった。中でも、ウエルトン市との間では、オンラインによるトップ会談が複数回行われるなど、コロナ禍でも切れ目のない交流が行われ、令和4年6月にウエルトン市で開催されるJapan Festivalに向けた弾みとなった。

こうした状況を踏まえ、令和4年度は、対面での交流が困難な状況が続くことを想定し、姉妹・友好都市との間でのオンライン交流（トップ会談、青少年交流）を進める。また、市民レベルでの友好親善、相互理解、国際理解が促進されるよう、補助金の拠出のみにとどまらず、姉妹友好都市交流協会等への事業の実施協力を行う。